

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 29年 2月 12・14日 (13:30~14:00)
	平成 29年 2月 13日 (10:45~11:15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 苦手意識を持たず、個々に関わる時間を多く持ち、ご利用者との会話の中から、希望や情報を引き出しつつ、なじみの関係を作り、知り得た情報等、全職員に周知し、実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者、ご家族との会話を積極的に広げるよう意識し、なじみの関係を作るとともに、会話の中から興味のあることや趣味など聞き取り、周知・提供した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	4	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	6	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	5	7			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	4	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.	苦手意識を持たず会話の中から楽しめる環境作りを行い、新規の方でもなじめるよう、自己紹介の場や、会話を広げるなど、積極的にコミュニケーションを図り不安軽減と、早く慣れていただくよう配慮している。
2.	本人や家族に声をかけ、話し合いの機会を設けたり、職員間で情報を共有し利用者と接することでコミュニケーションがとれて、良い関係作りができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.	口数の少ないご利用者に対し関わりが少なくなったり、日々の業務多忙で関わりが希薄になってしまうことがある。 理由)・苦手意識のため、慎重になってしまふ。 ・職員の対応の仕方による面もある。(スタッフが行ったほうが早いから、さりげなくお手伝いできていない部分がある)。 ・関わりが不得意である。
2.	介助時に、どの部分まで手を出せばよいのか分からない。 理由)・介助の度合いが分からぬ。(どこまで手を出せばよいか迷ってしまう)
3.	ご利用者個々の性格や気分によってなじみにくい方もいると思うが、ご利用者の気持ちの理解不足を感じる。 理由)・事前カンファレンスの情報を頼りがちになり、新たな情報の発見に至らないし、発見手段も確立されていない。(できる事の引き出しや、出来たことの周知不足等)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・カンファレンスや会議内でのADL確認、周知徹底に加え、ケアプランに記載されているご利用者・ご家族の意向及び趣味などを改めて周知し、それについての考え方や提案などを募るようにする。 ・プロ意識を持ち、苦手と感じた時ほど積極的に自らアプローチするよう職員に周知する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00)
	平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	4人	3人	人	12人

前回の改善計画
・定期カンファレンスの際、不足しているケアプラン内容や、具体的な目標設定などを話し合い、随時追加、修正を行なっていく。 個別の関わりファイル等作成、活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・担当職員が積極的に個別に関わる時間を意識して、カンファレンスなど追加・必要事項を申し送り、周知できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	9	2		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	10	1		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	11			12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	7	4		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.ご利用者個々のケアプランに沿った支援に努め、ご利用者の状態変化があった際は、カンファレンスで話し合い、プラン内容の見直しを行っている。	
2.個別にかかる時間が少ないながらも、利用者の話に耳を傾け、ご本人のしたいことを探ったり、担当として希望を聞き、時間を見て取り組み、可能な範囲で実現している。	
3.ミーティングでの情報を共有し、次の対応に活かしている。	
4.ゴールは長期短期目標を参考にしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.忙しい時やコミュニケーション不足時など、不安になるご利用者がいるため、安心して生活できているかどうか、疑問に思うことがある。（理由）・業務多忙時に、傾聴できず、なかなか情報収集ができない。	
2.状態変化に対応するケアプラン内容の随時追加修正が不足していたり、定期会議時、担当以外のご利用者の変化や対応等の話が出ない。（理由）・担当ご利用者以外の理解が不足しており、発見や気付きが乏しい面もあるし、新たな情報の周知にも問題がある。（確実な確認方法の確立が必要）・連絡ノートの追加情報等見落としがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・個々の担当だけでなく、全体の中の一人のご利用者として、関わる意識を持ち、他担当でも気付きを積極的に担当へ伝え、担当から会議へつなげ、周知して個々の情報を広げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00) 平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)
------------------	--

3. 日常生活の支援	メンバー
------------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者担当職員を中心に、モニタリング（サービス内容の定期見直し、確認）等により、より細かな日常生活支援を行えるよう、情報共有をしっかりと行なう。ご利用者の目線に合わせた、介護の姿勢を継続できるよう、再教育（外部施設体験研修）など、行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 日々の気付きやカンファレンスなどで出た意見は、その場で検討し、速やかに実践している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3	8	8	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	6	6			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか？	2	10			12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	9			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか？	3	9			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.ご利用者のADL、内服薬、病気、生活上の注意事項は把握できている。	
2.ミーティングや連絡ノート、カンファレンスなどの情報共有によって、対応、変更点等、支援は迅速かつ確実に行われている。	
3.声かけや表情などから行動を予測し、対応するようにしている。	
4.随時本人の意向を聞き取り、職員間で情報共有・交換を行い個々の希望に沿った支援を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.ご本人の自立のための生活環境や、利用以前の暮らしは10個以上把握できていない。また、声にならない声は対応が難しいと感じる。 理由)・懐かしむ話をしている時などは、積極的に話を聞き、情報を収集するが、発語の少ないご利用者からは、なかなか情報を引き出せない。	
2.今どうあるべきかを考えることが多く以前に暮らしを意識することがあまりない。 理由)・業務に追われてしまい、じっくり台帳の基本情報等確認していられない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・関わりの中で昔なじみの作業や趣味などを、些細なことでもよいので、ご利用者、ご家族から聞きだし、「ご本人をよく知る必要性」を念頭に、日々の関わりを持つよう意識していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00) 平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	2人	人	12人

前回の改善計画

- ご利用者手作りの物を持ち、小学校に出かけ、寄付したり、体験学習の案内をしたり、交流の継続を図っていく。 地域資源に触れる機会を持つ。(地域包括主催の会議や民生委員会議、市役所の会議等資料、社会資源冊子の回覧等)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ご利用者のリハビリを兼ねて、手作業をしてもらい、ご利用者と大浦小学校を訪ね、手作り雑巾を寄付したり、祭りの案内を届け、来ていただいたり、学校行事案内をもらい、参加して交流している。
- ドライブでなじみの場所に出かけ、地域の方と交流の機会を持っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	2		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	3		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	7	3		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	8	1	12

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 面会時、お茶など提供し個室でゆっくり過ごしていただくなど、ご利用者とご家族、介護者や知人との関係が途切れないよう努めている。
- 現在の自宅での暮らしや生活ぶりは把握できている。
- 訪問介護時等で生活スタイルを理解するよう努めている。
- 小学校を訪ね、手作り雑巾を寄付することができた。
- 地域包括主催の会議に定期的に出席し、地域の課題等把握する機会をもてた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- これまでのご利用者の生活スタイル、人間関係は基本情報の範囲内でしか理解できていない。 理由)・ご利用者と地域の方との交流など不明であったり、交流が乏しいご利用者も多い。・近所の話などをしているときは、生活スタイルや人間関係を理解したり情報収集する機会と思うが、じっくり耳を傾けていられない。
- 地域資源を把握する機会がなく、地域資源や地域包括会議資料など、事業所全体に周知していない。 理由)・地域資源にかかる機会がないし、ご利用者と地域資源を結びつける方法も理解していない。・職員に対し、地域資源や地域の課題などを含めた研修の企画・実施を行っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ご利用者との会話場面で、職員が聞き役に徹するのではなく、地域の話題へと話を振り、話を伺う機会を持つ。・地域資源の冊子を回覧するとともに、自治会長や民生委員に行事を確認したり、園内研修で地域資源について触れる時間を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29年 2月 12・14日 (13:30~14:00) 平成 29年 2月 13日 (10:45~11:15)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	3人	人	12人

前回の改善計画

- 記録に対する勉強や地域資源を活用した事による成功事例など、研修の機会を設ける。 口で終わらず、しっかり記録に留め、耳に残すような申し送りを周知徹底する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 記録の見出しを「様子」という言葉で日々の出来事をひとくくりにするのではなく、具体的な見出しと行動を記録することで、以前より記録から生活の様子が見えるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	6		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	4	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	7			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	4	8			12

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 関わりの中で気付いた状態変化等職員間で申し送り、情報の共有・周知を介護日誌、全体連絡ノート、生活記録に残すことで、ご利用者の状況やニーズに合わせて対応している。
- 緊急利用や送迎時間の変更等、臨機応変、柔軟に対応している。
- 地域で行われる季節ごとの行事に参加し、交流を深めたり、四季の移り変わり、近隣の状況を感じていたいている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 変化等、記録が不十分な面もあり、周知の確認に対し、見落としすることがある。(理由)・状況発生時に速やかに記録するのではなく、その場が落ち着いてから記録するので、記憶があいまいなこともある
- ニーズに合っていないサービス提供もある。(過剰なサービス、ご家族協力面等)(理由)・利用開始時のサービス内容を継続しているが、状態変化により不要と思われるサービスが見直されず継続提供されている。
- サービス提供予定でも突然のキャンセルや不在の時がある。(理由)・家人スケジュールの把握や、変更事項の申し送り不足。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ご利用者の多少の変化でも、次へつながる気付きと思い、こまめかつ速やかに記録するよう申し送る。
- サービス変更(送迎時間、利用有無等)確認をしっかり行い、申し送りを確実に行う。(介護日誌、連絡ノート、月間予定、食事担当申し送り)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00) 平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)
------------------	--

6. 連携・協働	メンバー
----------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	4人	4人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントに、可能な限り参加し、交流の機会を大切にしていく。他施設との話し合いなど、得た情報は、職員に発信し、参考してもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、地域イベントなど、耳に入った情報には可能な範囲で行事計画を立て、参加することができた。 ・地域包括との連携で地域ケア会議に参加したり、施設事例を発表するなど情報発信もできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	4		6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	6		4	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	3	2	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	7	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.他施設のイベントや小学校行事に参加している。	
2.納涼祭収穫祭で地域交流の機会を設けている。	
3.新聞やポスター、ご利用者、ご家族から得た情報でイベントに参加することがある。	
4.地域包括主催のケア会議に出席し、施設事例を発表するなど、地域への情報発信を行った。	
5.地域の伝統行事「稻の虫送り」では、花みずきまで来て頂き、交流を図るとともに、恒例行事となった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.会議に出席する職員は一部であり、会議内容で有効な情報以外は特に申し送っておらず、職員全員が連携・協働状態ではないと思われる。 理由)・会議資料の回覧を行っていない。・施設との情報交換研修の話も出ているが、人員不足の為、参加は難しい。	
2.農業用水の清掃や草刈り、事業所避難訓練以外に、自治会に接する機会や参加する機会は乏しい。 理由)・自治会からイベントの誘いがあるが、参加には至っていない。・地域に情報発信は行っているが、地域から依頼や反応はない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域ケア会議などの資料を回覧し・申し送りを行い、職員全員が地域の動向、課題やニーズを知る機会を持つ。・運営推進会議内で、更に地域の現状や課題を尋ねて、事業所が提供できる介護相談、講座などアピールしていく。・参加する職員を限定せず、参加機会を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00) 平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)
------------------	--

7. 運営	メンバー
-------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	人	12人

前回の改善計画	・職員の意識が、職場の雰囲気を変えるという事を念頭に置き、適宜時間を設け、意見や改善案など、話し合いを行なう。意見を出す際は、周囲の職員を巻き込み、利用者にとって有益な事、効率化や収支改善など、根拠のある意見としてまとめ、出すようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・人員削減案が浮上する中で、業務改善に関するアンケートを実施、会議内でも意見を伺い、業務の見直しや変更、改善案を試行することができた。自主研究でも業務改善に関するテーマで取組、更に細かく改善点を抽出することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	7	3		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	6	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	4	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	4	4	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.職員の意見を聞き取るためのアンケートや、新業務体制を行う中で、職員に意見を求め、会議内で検討し、試行するなど業務の改善に努めている。	
2.事業所収支の現状を会議内で説明したうえで、工夫、改善等考えてもらっている。	
3.ご利用者の意見は、随時または定期会議内で検討し、可能な範囲で反映している。 ・意見や苦情はその要因や解決について話し合い、対応できている。	
4.ご家族からの相談など上司に報告、相談することで速やかに解決できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.運営や、事業所のあり方について全体で意見を言う機会があまりないし、自分の意見はあまりない。 理由)・運営意識ではなく、介護職員として事業所理念を意識しながら業務に励んでいる。	
2.ご利用者登録状況が安定していない。 理由) 提供できるサービスに合致したニーズのケースも少ない。	
3.地域の方から意見を伺う機会はあるが、事業所として対応するケースの話は出ていない。 理由) 地域への具体的な問い合わせがないから。(勉強会や出前講座など宣伝不足)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・定期的にアンケートを行い、業務改善委つなげるとともに、運営に関し、意識してもらうようとする。 ・地域の方に、避難訓練など一方的に協力して頂くだけでなく、地域の情報を教えていただき、可能な範囲で協力する体制を整える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00)
	平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー	
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	1人	12人

前回の改善計画	
・研修年間予定を全職員に周知し、受講希望を募る形式を検討する。 研修に参加した職員は、会議内で要点を伝達し、研修資料を回覧する。 地域の方も参加できる研修を行ない、職員は教える立場に立ち、自身の知識習得の機会として捉える。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・施設内研修を増やし、重要な研修は複数回開催して、なるべく多くの職員に周知している。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	4		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できますか	3	4	5		12
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	8	12
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		5	6	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.施設内研修は定期的に行われており、参加可能な時は参加している。	
2.資格取得研修に参加することができた。	
3.外部研修で得た情報を基に、園内研修を行った。	
4.定期会議内で、アクシデント等振り返り、改善報告を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.職場以外の研修に参加できていない、スキルアップや資格取得の研修にも参加できていない。(理由)・本体から職員を借りている状態で、外部研修の職員配置は難しい。(費用、遠方、期間等関係している)	
2.地域の方向けの講座等、参加人数が少ない。(理由)・興味のある内容でなかったり、日時や開催場所も関係している可能性がある。・具体的な内容の宣伝や周知方法の不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・外部研修の機会を大切に、可能な範囲で、参加する機会を設け、知り得た情報を園内研修で伝達し、情報を広めていく。・地域への講座を案内し、情報を伝えていくとともに、伝える側として、情報収集、資料作成など事故の知識の拡大、確認の場として捉えるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 29 年 2 月 12・14 日 (13:30~14:00)
	平成 29 年 2 月 13 日 (10:45~11:15)

9. 人権・プライバシー

--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	人	人	12人

前回の改善計画
・記録場所や、記録物の置き場所を明確にする。 記録の際は、必要最低限の用紙のみ持ち出し、ご利用者の目に触れないよう記録する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・介護日誌、生活記録等、当日分を抜きだし、ファイルを利用することで、不要な記録物を持ち運ばないようにした。 ご利用者と離れた位置や、記録が目に入らないよう配慮した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	身体拘束をしていない	11	1			12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	7	4	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	2	1	5	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	6	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1.拘束や虐待に発展しそうな状況はないか、会議で話し合い改善している。	
2.記録場所、記録物保管方法や置き場を明確にし、プライバシーが守られるよう配慮している。	
3.園内研修で虐待・拘束を学ぶ機会があり、理解できている。	
4.言動について指摘があった場合は改めるよう努力している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.安全確保のため、本人の意思に反して、「座っていてください」と言ってしまうことがある。 ・理由) ドラッグロック、スピーチロック、フィジカルロックの理解が不足している。 ・事前に慌ただしくならいための方法を検討しているが、うまく提供されていない。	
2.バタバタしている時などは、ご利用者の目に入る位置で記録することがあったり、コール等で席を離れた時、ご利用者が記録物に触れている時がある。 理由) ・バタバタしていても、プライバシーに配慮した記録方法で行うよう心がけていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・プライバシーに関する研修を継続するとともに、カンファレンスで、そのご利用者にとって有効な情報(集中できる作業や道具等)を整理し、個々の行動を予測して、慌ただしくならないよう適宜提供し、落ち着ける環境を整えてる。 ・成年後見制度がどういう制度なのか、研修等で触れる機会を持つ。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	県央福祉会	代表者	村山 裕子	法人・事業所の特徴	・法人は、高齢者福祉施設・障がい者福祉施設・保育園など幅広い分野を運営している。 ・事業所は、家庭的な雰囲気の中で、利用者が自発的に行動し、楽しみのある生活を送れるよう、見守り、寄り添い、介護支援を行なっている。 ・地域との交流を大切に、地域行事、施設行事など相互に参加する機会を持ち、また、認知症介護の拠点となるよう、講師派遣や、体験学習受入など行う体制となっている。					
事業所名	ライフケア花みずき	管理者	勝又 伸一							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	人	1人	人	3人	人	7人
項目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取組み・結果			意見		今回の改善計画	
A. 事業所自己評価の確認	・「できていない」等の意見を吸い上げ、研修委員会を中心に、介護士ニーズで研修を企画する。			定期会議内で施設内研修の内容確認を行い、職員が不安に思う分野の研修を複数回行い、全職員が参加できるようにしている。また、希望があれば計画以外の研修を企画する体制となっている。			自己評価で、「できていない」ことに対して、研修企画はあるが、どんなことができていないのか？ 職員の異動もあるので、同じ内容の研修でも繰り返すことが大切だと思う		定期会議内で研修成果を振り返り、事後アンケートを取るなどして、効果確認を行う。意見箱を活用し、職員が何を求め、何に困っているのか情報収集を行い、更なる改善につなげていく。	
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所便りを活用し、会議室開放や、困りごと相談等、日々に受け入れ体制を整えていきたい。			居宅介護支援事業所、病院関係、地域に事業所便りと無料体験の配布・回覧を行い、登録空き状況の情報発信と出張介護講座、ボランティア募集の宣伝を行ってきた。			他のグループホームでは、「会議室を貸し出します」と宣伝している。実績は不明だが、実際に利用いただいて、ボランティアでつながれば理想である。便りにも開放しているという文言を載せてはどうか？		地域の方が集まる機会に、事業所のパンフレットや介護講座、防災協力等説明周知を図りたい。事業所便りに会議室開放（児童の勉強の場、お茶飲み等）情報を掲載し、気軽に立ち寄れる場所としてアピールしていきたい。	
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所として、「元気はつらつボランティアスタンプ受入機関情報一覧」登録情報を更新すると共に、地域の方と交流時にボランティアの具体的な内容や、相談事など可能な範囲でアドバイスを行なう等チラシを作り、配布すると共に、周知していく。			ボランティアスタンプの受け入れ情報を変更し、ボランティア受け入れ活動内容の幅を広げた。			地区の行事は年間計画で決まっているのか？ 決まっているようであれば、事前に知りたい。施設から積極的に地域のイベントに顔を出しているわけではない、顔合わせの機会が少ない。		ボランティア募集している活動内容や、活動状況・写真を便りに掲載し、地域の方の目に触れる機会を多く持つ。併せて、介護相談受け入れなどの情報も掲載し、ボランティアと相談が同時にできる等宣伝していく。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・事前に地域行事の情報を入手し、事業所から積極的に参加していけるよう行事計画を行なって行く。			運営推進会議内で、地域の状況など確認する時間を設けた。天気の良い時など、なじみの場所にドライブに出かけるなど行事計画			民生委員や自治会長が、地域の状況を一番把握していると思うので、会議内で情報提供してほしい。（今月、来月の地域のイベント情報など情報収集の機会を多く持ち、なじみの場所へ出かけ		運営推進会議で地域の情報確認する時間を設けたり、広報のイベント情報など情報収集の機会を多く持ち、なじみの場所へ出かけ	

		を増やした。	ト、近所で困っている方など)	る機会を随時企画していく。 地域包括と連携し、相互に相談できるようにしていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で、議事に地域の課題を取り入れ、事前に地域の課題、状態変化の方などの情報を収集し、可能な範囲で検討、対応していく。	運営推進会議内で、地域の状況や相談ケースなど確認する時間を設けた。	地域の課題は、地元の民生委員や自治会長が把握しているので、事業所として取り組んではほしいことを相談して頂きたい。(地域の勉強会など)	運営推進会議内で出た意見に対し、そのテーマを基に資料作成し、次回会議内で各委員から意見を募り、検討・解決を図ると共に、便りを活用し、地域へ情報発信を行っていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進会議内で、避難訓練の日程や内容を周知し、可能な範囲で参加を募ったり、アドバイスをいただくようにする。	運営推進会議内で日程を周知し、参加の呼びかけを行った。	避難訓練等、参加可能な方は参加して頂きたい、見学でも良い。日程を予め周知して、どういった訓練を行っているのか見学する機会を持つ。	事業所の防災計画情報を各委員に周知し、可能な範囲で参加を募っていく。 運営推進会議を災害に関しての備蓄状況、設備の確認等管理・確認の機会として捉え、災害発生時の速やかな対応につなげる。